

建築製図（建築類型）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	4	学科・学年	建築インテリア科 3年
使用教科書	建築設計製図（実教出版）				
	担当教員が配布するプリント				

「建築製図」はどんな科目？

製図に関する日本工業規格及び各専門分野の製図について基礎的な知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てることを目指している科目です。

「建築製図」の学習の特徴は？

製図の基本は、正確で分かりやすい図面を作成することと、図面を迅速にかくことです。誤読のおそれのない図面を作成するためには、製図道具を正しく使い、適切な図法を選択し、明瞭な線や文字で表現することが必要になります。教科書にある製図例の模写課題を行っていくことで、製図の基本を身につけることができます。

「建築製図」で大切なこと（留意点）は？

- ・ 建築に関する基本的な製図規格や表示が理解でき、利用できる。
- ・ 明瞭で正しい図法による基本的なかき方を身につける。
- ・ 提出期限を厳守した、計画的な進行を習慣として身につける。
- ・ 製図道具や製図機器の操作法を身につける。
- ・ 鉄筋コンクリート構造の基本的図面表示が理解できる。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	〈製 図〉 店舗付事務所設計図（鉄筋コンクリート構造） 製図例5-1（配置図・各階平面図）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に平面図においては、断面にあたる部分（柱）とその他の部分との線の強弱を明瞭化できる。 ・ 平面図等の図面から立面図の寸法を割り出せる力を身につける。 ・ 壁の厚みに注意し、内部構造がうまく表現できる力を身につける。 ・ 縮尺による図面表現の違いを学習する。 ・ 基礎や基礎梁、柱・梁・小梁・スラブや壁の位置関係を理解し部材符号が読みとることができる。 ・ 柱・梁や壁とその開口部等を、立面的に表現する方法を学習する。 ・ コンクリート断面形状や寸法、鉄筋径・本数を断面図で表すことを学習する。 ・ 柱・梁・基礎梁などの断面材寸法や主筋・帯筋・あばら筋などの鉄筋径・本数・間隔などのほかに、定着方法・長さ、継手位置、鉄筋の止まり位置、圧接位置など配筋方法を学習する。 ・ 建築専用CADを利用すると「精度の高い図面がかかる」、「修正変更等が簡単に行える」、「保管や検索を簡単にできる」等を理解する。また、CADは設計製図を支援する道具として利用するものであり、創造や判断は人間が行うという基本理念を学習する。
	5	〈CAD〉 建築専用CADの基本的な取り扱い	
	6	※製図とCADのローテーション	
	7	〈製 図〉 製図例5-2（立面図・断面図） 製図例5-3（階段詳細図） 〈期末考査〉	
2 学 期	9	〈集合住宅設計図〉 製図例6-1（各階平面図）	
	10	製図例6-2（立面図）	
	11	製図例6-3（断面図） 製図例6-4（平面詳細図）	
	12	製図例6-5（階段詳細図）	
3 学 期	1	〈CAD〉 施工図の作成 〈製 図〉 自己設計製図	〈学年末考査〉
	2		

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・製図板周辺を整理し製図に向かう姿勢ができています。・提出期限を守ることができている。・意欲を持って出席している。	<ul style="list-style-type: none">・授業準備・作品評定・出席状況
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">・誤読のない図面がかかれています。・作品が丁寧にかかれています。	<ul style="list-style-type: none">・作品評定・行動観察
技能	<ul style="list-style-type: none">・作品が丁寧に描かれています。・用紙にバランスよく描かれています。・明瞭な線文字が書かれています。・細線、太線、極太線、補助線等の使い分けができています。	<ul style="list-style-type: none">・作品評定・定期考査・行動観察
知識・理解	<ul style="list-style-type: none">・寸法間違い等が無く正確な作品となっている。・製図の描き方について理解している。	<ul style="list-style-type: none">・作品評定・定期考査

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

普段の授業を真剣に取り組み、課題を必ず提出期限までに完成させてください。図面は正確に、美しく、汚さないような工夫をしてください。（正確、美しく、迅速！）
座学で学習した内容を活かして製図に取り組んでください。